

## 第2学年総合的な学習の時間学習指導案

平成28年11月25日(金) 第6校時

2年3組 生徒29名

指導者 和田 祐二 稲野仁子 小橋歩

1. 単元名 郷土の外から考えよう

2. 年間指導計画における本単元の位置づけ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元												
郷土に対して自分たちはなにができるだろうか(70時間)												
郷土の中から考えよう(40)							郷土の外から考えよう(30)					

3. 単元設定の理由

(1) 生徒の実態から

本学年の生徒は、第1学年の総合的な学習の時間において、郷土の偉人「ジョン万次郎」を題材として地域の偉人の生き方を学ぶことを通して、志を高く持ち、物事を最後まで諦めず取り組むことの素晴らしさを実感してきており、体育祭や文化祭などの学校行事の場面では、仲間とともに協力して成功させようという意識は高い。また、本校校舎内にジョン万次郎コーナーを設けたり、大河ドラマに取り上げってもらうための署名活動に参画したりしてきたことで、郷土愛や地域の先人に対する誇りが高まっている。4月に実施した「総合的な学習の時間で育った学力についての調査」における肯定的評価の割合においても、「総合的な学習は楽しい」88.9%、「社会や地域の課題解決にむけ主体的に活動したいと思う」は96.3%、学習方法に関する全項目においていずれも肯定的評価が88%以上と高く、総合的な学習の意義や学習に対する主体性が高まっている。一方で、今年度の総合的な学習の時間における生徒の実態からは、「情報を相手や目的に合わせて、根拠を明確にして自分の考えを整理し、表現すること」、「収集した情報を整理分析すること」など、まだ不十分である。そこで、地域の一員としてこれからの土佐清水市のためにできることを考えることを通して、多様な解決方法や情報の中から、よりよいものを整理・分析したり、自分の考えを伝え合ったりする機会が必要であると考え、この単元を設定した。

(2) 単元で育成したい資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

ア 問題状況の中から適切に課題を設定する。

イ 目的に応じて手段を選択し、効率的に情報を収集する。

ウ 情報を多角的・多面的に整理・分析する。

エ 相手や目的、意図に応じて効果的な表現の仕方を選択し、論理的に表現する。

【自分自身に関すること】

- オ 探究的な学習活動を通して自分が取り組んでいることの価値に気付き、自己有用感を持つ。
- キ 学んだことを生かして、自らの生き方について考える。
- ク 課題解決に向けて、自ら計画を立て行動する。

【他者や社会との関わりに関すること】

- ケ 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。
- サ 互いの特徴を生かし、協働して課題を解決する。
- シ 地域や社会の課題を「自分事」としてとらえ、行動する。

(3) 教材について

学習対象は「他の地域のよさ、特色を生かした取組から考える地域活性化」である。生徒たちは今年度、「郷土に対して自分たちはなにができるだろうか」をテーマに総合的な学習の時間を行っている。前単元「郷土の中から考えよう」で、「清水で働く人から学ぼう」をテーマに、土佐清水市で働き、生活している人と交流したことで、郷土愛を深め、地域の一員としての自覚を高めてきている。今回は他の地域と自分たちの地域を比較することで、地域の課題を自分たちで発見することができ、その課題解決に向けて自分たちなりの地域活性化に対する取組を考えることで、より一層地域の一員であることを自覚し、主体的に学習に取り組む姿が期待できる。そこで、二学期に予定されている修学旅行先の京都を比較する他の地域と位置付け、修学旅行で実際に見て感じた「世界的な観光都市」である京都と比較することで、土佐清水市の課題を見つけ、自分たちなりの地域貢献を考えていく。その際、小单元ごとに課題に立ち戻り、集めた情報をどのように整理すると課題解決の方策を見出すことができるのか考えさせる。また、小单元ごとに整理した情報を発表する場を設定するとともに、発表に対する相互評価の場を設定し、どのようにまとめ、表現することが説得力のある発表つながるのか、相手意識をもち、よりよい表現に高める場を位置付けことで、地域の課題に対して主体的、協働的に課題解決する学習を仕組む。

4. 単元の目標

修学旅行先の京都を観光の視点から調べ、土佐清水市と比較することを通して、どうして京都が「世界的観光都市」と言われているのかを知り、京都の取組から土佐清水市の地域活性化に向けて取り入れることを考えることで、地域の一員としての自覚を高め、自分が考える地域貢献をまとめ、発信することができる。

5. 単元の評価規準

観点	学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会との関わりに関すること
評価規準	ア京都の魅力を調べたり、土佐清水市と比較したりすることを通して、適切に課題を設定している。 イ京都や土佐清水の地域活性化につながる情報を、目的に応じて手段を選択し、効率的に収集している。	オ地域貢献を考えることを通して自分が取り組んでいることの良さに気づき、自己有用感を持っている。 キ他地域の取組から、自分たちの地域貢献策を考えている。	ケ地域貢献を考える中で、異なる意見や他者の考えを尊重している。 サ互いの考えを生かし、協働して地域活性化について考えている。 シ土佐清水市の課題を「自分事」としてとらえ、地域活性化に貢献しようとしている。

	<p>ウ収集した情報を地域活性化の視点で、多角的・多面的に整理・分析している。</p> <p>エ相手や目的、意図に応じて効果的な表現の仕方を工夫し、論理的に表現している。</p>	<p>ク地域活性化に向けて、自ら計画を立て行動している。</p>	
--	---	----------------------------------	--

## 6. 指導と評価の計画（30時間）

過程	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
課題設定	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元オリエンテーションでねらいを把握し、学習の見通しをもつ。</li> <li>・修学旅行で見聞きした京都市を想起しながら、なぜ京都は「世界的な観光都市」になったのか、京都の魅力や取組を探る課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都について、社会科で学習してきたことや修学旅行で印象に残っていることを思い出させながら、京都を観光都市の視点で考えさせていく。</li> </ul>	学ア	ホワイトボード 観察
情報収集	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光の視点から京都市の魅力や京都市が行っている取組について調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館で、書籍やパソコンを活用し、生徒自身に調べる方法も選択させて効率的に情報収集させる。</li> </ul>	学イ	ワークシート 観察
整理分析	3 【本時】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した情報や修学旅行で感じた京都の魅力を中心に、京都が「世界的な観光都市」になった理由を整理、分析する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考ツールを活用して多角的な視点から理由を考えさせ、焦点化させていく。</li> </ul>	学ウ 他ケ	ワークシート 観察
まとめ・表現	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報を基に京都の魅力と取組をまとめ、自分たちで考えた「世界的な観光都市」になった理由を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人レポートしてまとめ、班で発表し合う。</li> <li>・班の代表者を選び、班でレポートを修正し、全体で発表させる。</li> </ul>	学エ 自オ 他シ	レポート 観察 レポート
課題設定	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市の魅力と取組から、土佐清水市活性化の取組を考える課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水市の観光客や人口が減っている現状から課題意識を持たせる。</li> </ul>	学ア 自ク	ホワイトボード 観察
情報収集	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の観光施設に、現在行っている取組を聞き取りに行く。</li> <li>・以前「観光地土佐清水」としてにぎわっていた頃の取組や町の様子を聞き取りに行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が取り入れたらいいと思う取組を考えてから、聞き取りに行かせる。</li> <li>・学校や市の図書館を活用して、昔の土佐清水市の様子も情報収集させる。</li> </ul>	学イ 自キ	ワークシート 観察

整理分析	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>集めた情報を基に、土佐清水市の現状を踏まえて、土佐清水市を活性化する取組を整理・分析する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考ツールを活用し、京都と土佐清水の取組、班員の集めてきた情報と自分の情報など、収集した情報の共通点や相違点を明らかにさせながら整理させる。</li> </ul>	学ウ 他サ	ワークシート 観察
まとめ・表現	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに自分たちが考える地域貢献を、地域活性の視点でまとめ、学級で発表する。</li> <li>学級代表の発表を、市役所・商工会の方々に納得してもらえる地域貢献となるように表現し直す。</li> <li>保護者や市役所・商工会議所の方に、地域貢献の取組を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような取組を行うことが土佐清水市を活性化につながるのかを意識してまとめさせる。</li> <li>学級発表から学年発表会で発表するグループを選び、学級全体で学年発表の内容を改善させる。</li> <li>市役所や商工会の人々から発表に対する講評をもらい、今後の学習につなげる。</li> </ul>	学エ 自オ 他シ	観察 模造紙 レポート

7. 本時の指導 (8/30)

(1) 本時の目標

- 世界中の人々が京都を訪問している理由から、京都の魅力を多面的・多角的な視点で考えることができる。

(2) 本時の評価規準

- 収集した情報を地域活性化の視点で、多角的・多面的に整理・分析している。【学ウ】

(3) 準備物

ワークシート (Yチャート)、観光客都市ランキング表

(4) 学習の展開

	清水中 スタンダード	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入  課題・ めあて をつか む		1 前時を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までの情報収集から、京都にはたくさんの魅力があることを振り返る。</li> <li>「世界観光都市ランキング」を提示し、日本だけでなく、世界中の人を魅了していることに気づかせる。</li> </ul>	
		2 めあてを把握する		

展開	個による思考	3 多くの観光客が京都を訪問する理由を考える（個人）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何に魅かれて京都を訪問しているのか、理由を付箋に書き出させる。</li> <li>・調べたことだけでなく、修学旅行のしおりも活用させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した情報を地域活性化の視点で、多角的・多面的に整理・分析している。【学ウ】（ワークシート）</li> </ul>
	集団での思考	4 班で京都の魅力を整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が考えた京都を訪問する理由を発表し、班でグループ化させる。</li> <li>・グループ化したカテゴリーを基に、京都の魅力を3つに絞る（Yチャート）</li> <li>・魅力を3つに絞りきれない班には、他の都市にはなく京都にしかない魅力の視点で考えるよう助言する。</li> </ul>	
	全体で練り上げ共有	5 全体で京都の魅力を考える <ul style="list-style-type: none"> <li>・各班でまとめた魅力を発表する</li> <li>・全体で魅力を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜその3つに絞ったのか理由を明確にして発表させる。</li> <li>・班の発表をもとに、京都の魅力を整理していく。その際、なぜそのことが魅力といえるのか意見を出させ、魅力を焦点化していく。（ピラミッドチャート）</li> </ul>	
まとめ	振り返り	6. 自分達が考える京都の魅力をまとめる  7. 本時を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客「リピート者数」を基に、なぜ何度も訪れているのか、魅力の裏にある京都の人々の努力や取組に気づかせ、次時につなげる</li> <li>・本時の振り返りを200字の原稿用紙に記入させる</li> </ul>	

## 8. 板書計画

めあて **京都が世界中の人々を引き付けている魅力を考えよう**

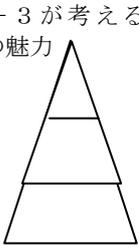
観光都市ランキング表

ランキン  
グ表

**京都の魅力**

1班	2班	3班	4班
5班	6班	7班	8班

2-3が考える京都の魅力



振り返り